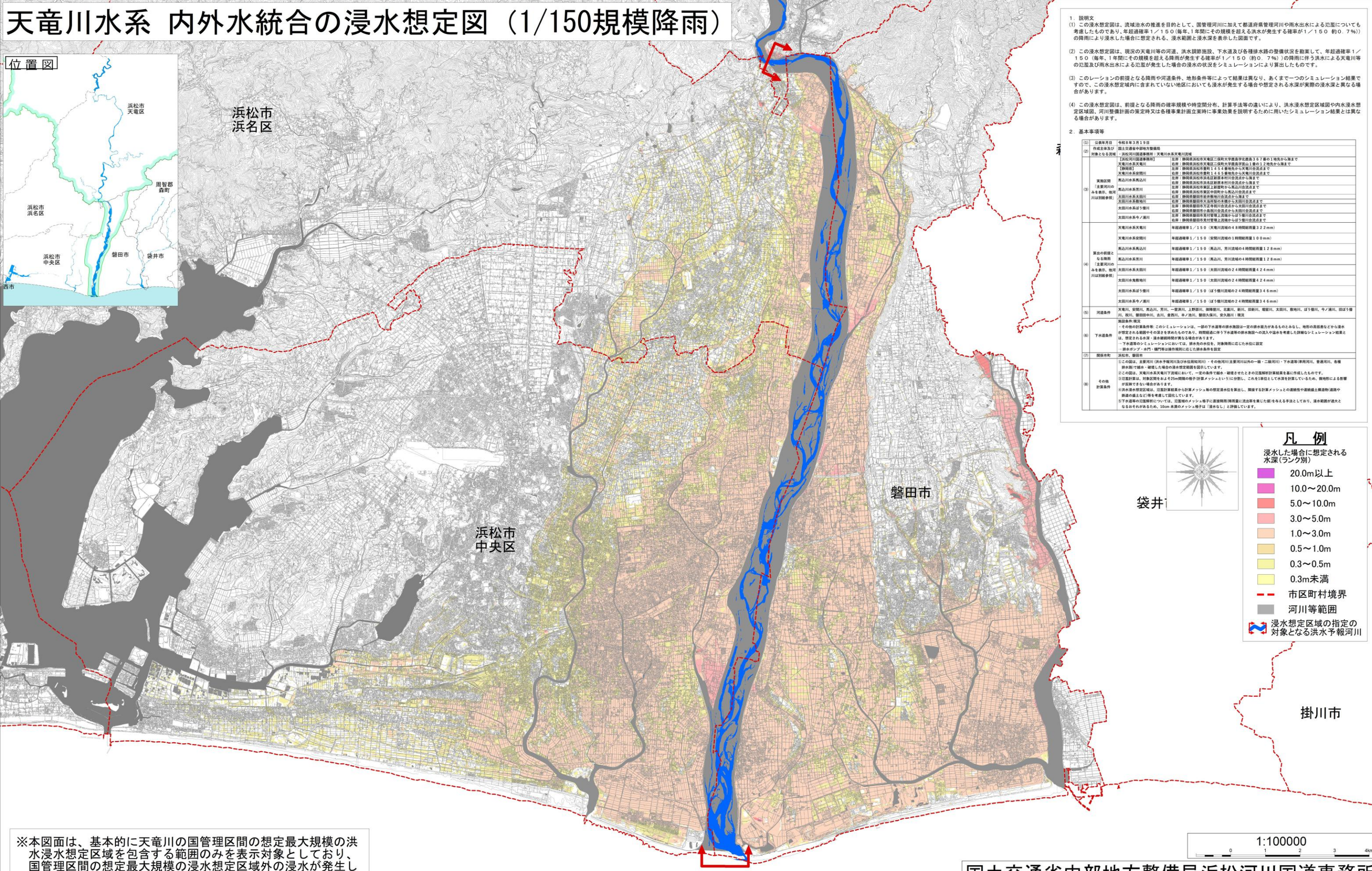
天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1/150規模降雨）



1．説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率１／１５０（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／１５０ 約0．7%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の天竜川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率１／１５０（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／１５０（約0．7%）の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

(1)	公表年月日	令和８年３月１９日
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・浜松河川国道事務所：天竜川水系天竜川流域
(3)	実施区間「主要河川のみを表示、他河川は別紙参照」	【浜松河川国道事務所】天竜川水系天竜川 左岸：静岡県浜松市天竜区二俣町大字鹿島字北鹿島３６７番の１地先から海まで 右岸：静岡県浜松市天竜区二俣町大字鹿島字宮山１番の１２地先から海まで
		【静岡県】天竜川水系安間川 左岸：静岡県浜松市豊町１４５４番地先から天竜川合流点まで 右岸：静岡県浜松市豊町１４６５番地先から天竜川合流点まで
		馬込川水系馬込川 左岸：静岡県浜松市浜名区新原本村川合流点から海まで 右岸：静岡県浜松市浜名区新原本村川合流点から海まで
		馬込川水系芳川 左岸：静岡県浜松市東区中田町から馬込川合流点まで 右岸：静岡県浜松市東区中田町から馬込川合流点まで
		太田川水系太田川 右岸：静岡県磐田市岩井敷地川合流点から海まで
		太田川水系敷地川 右岸：静岡県磐田市大当所字の木間から太田川合流点まで
		太田川水系ぼう僧川 左岸：静岡県磐田市万正寺字川合流点から太田川合流点まで 右岸：静岡県磐田市小島字川合流点から太田川合流点まで
		太田川水系今ノ浦川 左岸：静岡県磐田市見付管理上流端から ぼう僧川合流点まで 右岸：静岡県磐田市見付管理上流端から ぼう僧川合流点まで
(4)	算出の前提となる降雨「主要河川のみを表示、他河川は別紙参照」	天竜川水系天竜川 年超過確率１／１５０（天竜川流域の４８時間総雨量３２２mm）
		天竜川水系安間川 年超過確率１／１５０（安間川流域の１時間総雨量１０９mm）
		馬込川水系馬込川 年超過確率１／１５０（馬込川、芳川流域の４時間総雨量１２８mm）
		馬込川水系芳川 年超過確率１／１５０（馬込川、芳川流域の４時間総雨量１２８mm）
		太田川水系太田川 年超過確率１／１５０（太田川流域の２４時間総雨量４２４mm）
		太田川水系敷地川 年超過確率１／１５０（太田川流域の２４時間総雨量４２４mm）
		太田川水系ぼう僧川 年超過確率１／１５０（ぼう僧川流域の２４時間総雨量３４６mm）
		太田川水系今ノ浦川 年超過確率１／１５０（ぼう僧川流域の２４時間総雨量３４６mm）
(5)	河道条件	天竜川、安間川、馬込川、芳川、一宮溝川、上野部川、御陣屋川、北溝川、新川、田新川、堀留川、太田川、敷地川、ぼう僧川、今ノ浦川、旧ぼう僧川、筧川、磐田新中川、吉川、倉西川、半ノ池川、磐田久保川、安久路川：概況
(6)	下水道条件	施設条件：概況 ・その他の計算条件等：このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や浸水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 ・下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定 ・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定
(7)	関係市町	浜松市、磐田市
(8)	その他計算条件	①この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級・二級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。 ②この図は、天竜川水系天竜川下流域において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。 ④浸水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。 ⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm 未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。

※本図面は、基本的に天竜川の国管理区間の想定最大規模の洪水浸水想定区域を包含する範囲のみを表示対象としており、国管理区間の想定最大規模の浸水想定区域外の浸水が発生しないことを意図するものではありません。

国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 976）